

平成28年度

川西町各課の運営方針と組織目標

(点検評価)

◆総括的事項

平成28年4月に各課で計画した運営方針と組織目標(具体策指針)に基づき、1年間の点検評価を行ったものです。

◆具体的点検評価内容

1. 平成28年4月1日から平成29年3月31日までの事業の点検評価です。
2. 事業の内容については、できるだけ詳しくわかり易く表記しました。
3. 目標数値のあるものについては、できるだけ数値化し、達成状況がわかるように表記しました。また、イベント・会議等は、できるだけ月日を表記しました。

平成28年度 運営方針と組織目標（総務課）

作成者 総務課長 遠藤 勝 則

【課の運営方針】		
1 庁内調整機能の強化を図り、行政運営の実効性を高める。 2 人材育成に向け、職員研修の充実を図るとともに、人事評価制度の円滑な運用を進める。 3 経営改革プランの推進及び指定管理者制度の運用を図る。 4 自主防災組織との連携を強化するとともに、災害時の情報伝達環境の充実・運用に努める。 5 入札制度の改善に向け、調査・研究を進める。		
組 織 目 標	具 体 策 指 針	点 検 評 価
【行政管理グループ】 1 庁内調整機能の強化 2 職員研修の充実と人材育成 3 組織、人事評価制度に関する調査研究 4 経営改革プランと指定管理者制度の推進 5 職員の健康管理の充実	1 重要政策の審査・決定及び行政運営の意志統一を図るため経営会議を開催するほか、必要に応じ課題調整会議を開催する。 2 (1) 人材育成基本方針を見直すとともに、中期研修計画を策定する。 (2) より実践的で、かつ動機づけが図られる研修プログラムの導入を図る。 3 (1) 改編後の組織体制について現状を把握し、課題等がある場合は、その解消を図る。 (2) 人事評価制度について、運用の円滑化と精度向上を図るため連絡調整会議を開催する。 4 (1) 経営改革プランを推進するため、アクションプランのPDCAによる進行管理を行う。 (2) 指定管理者導入施設30施設の年度点検評価を実施する。また、新規の導入予定施設についても、研究・検討を行う。 5 (1) 健康診断、各種研修会、交流会等を開催するとともに、衛生委員会活動の充実を図る。 (2) ストレス・チェックの導入目的や制度等に関する職員周知を徹底し、円滑な実施を図る。	1 経営会議を開催（原則月2回） 26回実施 課題調整会議の開催 8回実施 2 (1) 情報収集 （先進自治体等の基本方針や研修計画について） (2) 研修実施 55研修 225人受講 ・総合計画の推進に資する研修を実施 9月20日 講師：明治大学小田切教授 3 (1) 行政管理改善委員会を開催 2月15、21日 改編後の組織体制の検証 (2) 人事評価を実施 連絡調整会議 未実施 4 (1) 平成27年度アクションプランの内部評価の確定・公表を実施 (2) 指定管理者選定委委員会を実施 7月5日・12日・25日 ・平成27年度管理運営評価の審査（30施設） ・農村環境改善センターの制度導入の検討 5 (1) ・健康診断の実施 一般健診受診率 100% ・衛生委員会の開催 14回 健康体操、ウォーキング、職場巡視、スポーツ交流会、メンタルヘルス研修会を実施 (2) ストレス・チェックを実施 9月5日～8日 目的と制度を周知（8月2回）
【危機管理グループ】 1 災害備蓄や自主防災組織との連携、災害時の情報伝達環境の充実	1 町の災害備蓄品の点検整理及び自主防災組織の災害備蓄品の把握により、今後の災害時に必要な備蓄の課題を整理する。また、町総合防災訓練や防災講演会の実施など、自主防災組織と連携しながら住民の防災意識の高揚を図る。 災害時の住民への情報伝達手段の一つとして、同報系防災行政無線の積極的な活用を図るほか、登録制メールの登録者数の増加を図る。	1 災害備蓄や自主防災組織との連携 災害時の情報伝達環境の充実 ・町災害備蓄品の点検整理、自主防災組織の災害備蓄品調査 ・町総合防災訓練を実施（大塚地区） 8月28日 570人参加 ・出前講座を実施 9月1日 小松地区自主防災連合会研修会 ・防災講演会を開催 小松地区 10月29日 中央公民館 57人参加 吉島地区 1月8日 吉島地区交流センター 60人参加 ・同報系防災行政無線活用実績 22件 ・登録制メール登録者 541人

2 消防業務の推進（消防団装備品の整備・充実）	2 消防団、消防署、町行政の連携・調整を図り、円滑な業務遂行に努める。 消防団装備品の整備・充実に努める。特に整備2年目となる雨衣は6月中に配備する。	2 消防業務の推進 消防団装備品の整備・充実 ・各種事業実施時以外にも随時連絡し、連携を強化 ・消防団員へ雨衣を6月に配備 300着
【契約管財グループ】 1 未登記物件の解消 2 庁舎内執務環境の改善 3 入札制度の研究、改善	1 町有財産（土地・建物）は常時把握し、不要と判断した資産は積極的に処分する。 また、未登記物件については、年度登記目標件数を15件と設定し、順次物件を精査しながら解消に努める。 2 庁舎全体の執務環境の改善を図る。 3 入札制度の改善について、情報収集及び研究を行う。	1 町有財産の処分について検討 ・ホームページ公表 土地2件 うち土地 1件売却 ・未登記物件 25筆解消 ・法廷外町有地 5件売却 2 エアコン更新工事 1件実施 3 近隣市町の情報収集を実施

平成28年度 運営方針と組織目標（未来づくり課）

作成者 未来づくり課長 井上 憲也

【課の運営方針】		
1. かわにし未来ビジョン及び総合戦略、各種計画の着実な推進に向け、政策の企画調整及び進行管理を行う。 2. 行政評価システムの運用を充実し、内部評価及び外部評価に基づく効果的な政策推進を図る。 3. 健全化判断比率の各指標を適正に管理し、健全な財政運営を図る。		
組織目標	具体策指針	点検評価
【政策調整グループ】 1 各種計画の進行管理 2 行政評価システムの運用管理 3 広域行政・広域連携の推進	1 各種計画の進行管理 (1) かわにし未来ビジョン、総合計画、各種計画の推進と進行管理を行う。 ・かわにし未来ビジョン ・総合戦略 ・過疎地域自立促進計画 ・中心市街地基本計画アクションプラン (2) 国土利用計画に基づき、土地利用及び開発等の適正な指導、調整を行う。 (3) 政策課題の企画調整を行う。 ・福祉ゾーン（仮称）整備構想の策定 ・新庁舎建設に向けた調査研究 2 行政評価システムの運用管理 (1) 行政評価システムに基づく内部評価及び外部評価を実施し、実施計画及び予算への反映を行う。 (2) かわにし未来ビジョンの推進に向け、新たな行政評価の仕組みを構築する。 3 広域行政・広域連携の推進 (1) 行政サービスの目的に応じた効果的な広域行政・広域連携を推進する。	1 (1) 総合計画推進アドバイザー（神戸国際大学 中村智彦教授）を委嘱 総合計画やまちづくり全般の指導、助言及び職員研修を実施。（4回） ・まちづくり委員（18人）を委嘱 各種計画に基づく事務事業の評価を実施（5回） (2) 土地開発の照会事案への対応 国土利用計画の方針に基づいた指導と各課の調整 (3) ・福祉ゾーン（仮称）の活用について 課題調整会議、関係課会議、土地所有者等との協議を継続中 ・庁舎建設について 庁内検討体制を設置（2月） 年度工程の検討、事例調査、関係省庁との情報交換を実施 庁内検討会議 1回 同幹事会 1回 同プロジェクトチーム会議 3回 2 (1) 総合計画策定連絡協議会（内部）及びまちづくり委員会（外部）を開催 27年度行政評価（内部）6月～7月 27年度行政評価（外部）9月～11月 29年度実施計画 9月～1月 28年度行政評価（内部）2月～3月 (2) 総合計画推進アドバイザー及びまちづくり委員会を通して、外部評価のあり方、見直しについて協議を継続中 3 (1) 置賜広域行政事務組合を主体に広域連携事務の円滑な運営に向け、随時、構成市町会議を開催。 広域連携調査・研修、共同電算システム、衛生処理、消防救急、移住定住事業など

<p>【財政グループ】</p> <p>1 健全財政の確立</p> <p>2 公共施設等総合管理計画の推進</p> <p>3 ふるさと寄附金制度の推進</p>	<p>1 更なる財政健全化へ向け、各指標等を注視しながら、適正な予算執行管理を行う。</p> <p>(1) 平成28年度目標指標</p> <p>① 実質公債費比率 9.9%</p> <p>② 経常収支比率 93.3%</p> <p>③ 財政力指数 0.235</p> <p>④ 財政調整基金残高 690,000千円</p> <p>2 社会動向等の変化を見据えながら、公共施設ごとの個別計画等の進行管理を行い、公共施設の再編整備等を推進する。</p> <p>3 ふるさと納税の普及促進に向け、積極的にPRを行い、また返礼品を随時拡大し更なる寄附金の増額を目指す。</p> <p>平成28年度目標額 25,000千円</p>	<p>1 実施計画を基に財政計画の見直しを実施</p> <p>(1) 平成28年度末の状況</p> <p>① 実質公債費比率 10.6%</p> <p>② 経常収支比率 91.2%</p> <p>③ 財政力指数 0.242</p> <p>④ 財政調整基金残高 634,563千円</p> <p>2 公共施設等管理委員会を開催 計画の進捗状況及び個別施設計画策定の協議を実施</p> <p>3 返礼品の拡大を実施 59品目→72品目 平成28年度末の状況 2,036件 58,008千円</p>
---	--	--

平成28年度 運営方針と組織目標 (未来創造室)

作成者 未来創造室長 遠藤 準一

<p>【課の運営方針】</p> <p>1 かわにし未来ビジョン及び総合戦略の主要プロジェクト（リーディングプロジェクト及び地域経済活性化等）を推進する。</p> <p>2 かわにし未来ビジョン及び総合戦略の各プロジェクトの推進を図るため、柔軟で機動的な室の運営に努める。</p> <p>3 川西町土地開発公社の円滑な運営を推進する。</p>		
組織目標	具体策指針	点検評価
<p>1 公立置賜総合病院周辺の開発の推進</p> <p>2 地域経済活性化プロジェクトの推進</p> <p>3 川西版CCRC（生涯活躍のまち）の調査、研究の実施</p>	<p>1 公立置賜総合病院周辺土地利用基本構想の策定を図る。 ・ビジョン・目標（KPI）・アクションの設定を行う。</p> <p>2 地域経済活性化プロジェクトのうち企業誘致の推進を図る。 (1) 尾長島トマト農場の整備・創業支援を図る。 (2) 企業誘致戦略の策定を図る。</p> <p>3 川西版CCRC構想及び計画の策定を図る。 川西版CCRCの導入に向けて、可能性調査、基本構想及び計画の策定を図る。</p>	<p>1 (1) 公立置賜総合病院周辺整備基本計画・実施計画の策定（29年3月） (2) 庁内に計画策定会議、計画策定プロジェクトチームを設置（28年8月） ・策定会議 5回 ・PT会議 10回 ・策定委員会 3回 ・地権者、大塚地区理事会説明 ・関係市町との意見交換 3市町 ・県、関係機関との意見交換</p> <p>2 (1) 尾長島トマト農場が円滑に創業するため、補助金及び制度資金融資の手続き等に関する支援 ・産地パワーアップ事業計画承認 6月23日 ・補助金交付決定 7月14日 ・工事完了 3月21日 ・額の確定 3月27日 (2) 情報収集活動を実施 ・企業訪問 11件 ・県、関係機関 2件</p> <p>3 (1) 「生涯活躍のまち」基本構想・基本計画の策定（29年3月） (2) 庁内に計画策定会議、計画策定プロジェクトチームを、庁外に外部有識者策定検討委員会を設置 ・策定会議 4回 ・PT会議 7回 ・策定検討委員会 3回 (3) 川西版CCRC（生涯活躍のまち）の調査、研究活動の実施 ・4月 「プラチナ社会研究会」総会参加 ・6月 先進事例調査（北海道厚沢部町） ・8月 移住関係機関との情報交換</p>

4 各主要プロジェクトの推進	4 かわにし未来ビジョン及び総合戦略の各プロジェクトの推進に向けて、関係課及び関係機関、団体と協働・共創する柔軟で機動的な室の運営に努める。	(4) 「生涯活躍のまち」基本構想・基本計画策定に係る業務委託契約を8月に締結 ・「生涯活躍のまち」基本構想・基本計画を完成(29年3月)
5 土地開発公社の円滑な運営	5 主要プロジェクト推進に向けた用地の調査、確保を図るとともに、長期保有遊休地の売却を図る。	4 関係課との調整会議の開催 5 川西町からの受託事業を実施 ・6次産業化工房地取得完了(28年5月) ・町道八ツ口宿線用地引き渡し完了(28年11月)

平成28年度 運営方針と組織目標 (まちづくり課)

作成者 まちづくり課長 鈴木 浩之

【課の運営方針】 1. かわにし未来ビジョン、ひと・まち・しごと総合戦略で掲げる「移住・定住促進プロジェクト」を推進するため、全庁、町内関係団体と連携し交流人口拡大、都市部からの移住・定住促進、若者の出会いの場の創出を図る。 2. かわにし未来ビジョン、ひと・まち・しごと総合戦略で掲げる「女性にやさしいまちづくりプロジェクト」を推進するため、男女共同参画を推進し女性が活躍できる環境整備を図る。 3. これまで取り組んできた「協働のまちづくり」を継続発展させるため、地区経営母体との協働体制を更に充実し、効果的な連携を図る。 4. 紙媒体やSNSを活用し町内外へ効果的、魅力的に情報発信するとともに、広聴力を高め、開かれた行政運営に努める。		
組織目標	具体策指針	点検評価
【地域振興グループ】 1. 移住定住環境の整備 2. 交流人口の拡大 3. 地区交流センター管理運営の支援 4. 協働の地域づくりの推進	1 (1) 移住定住促進計画を策定し、全町あげて移住定住の環境、体制の整備と情報発信を図る。 (2) 空き家バンクの調査、登録、情報発信と移住希望者の相談窓口の開設を図る。 2 (1) やまがた里の暮らし推進機構と連携し、あらゆる交流組織・団体と協働して交流ネットワークを構築・活用し交流人口の拡大、情報発信を図る。 (2) 交流から移住定住への発展に向けて各種イベント等へ出展し情報発信を行い、移住定住促進を図る。 3 (1) 地区経営母体による指定管理業務への支援を行うと共に、地域コミュニティ活動の拠点施設となるよう支援する。 4 (1) 地区経営母体の組織の充実と地域づくり事業、人づくり事業が円滑に行われるよう財政支援を行う。加えて、各地区に担当職員を配置し、経営母体の運営及び地区計画事業の推進を支援する。	1 (1) 移住定住促進計画 未策定 ・総合計画に基づき交流事業を実施 (2) 空き家バンク登録件数：3件 ・相談件数：20件 2 (1) 庁内関係課・交流実践団体等との調整農都交流事業運営の委託 ・第2回豆の展示会の開催 12月2日～14日 来場人数 3,900人 4会場タイアップ10店舗 ・大人のインターンシップ開催 (2) 各種イベント出店による情報発信 ・新農業人フェアに出展 9月10日 東京池袋サンシャインシティ ブース来場者20人 ・ふるさと回帰フェアに出展 10月22日 東京国際フォーラム ブース来場者38人 ・JOIN移住・交流&地域おこしフェアに出展 1月15日 東京ビッグサイト ブース来場者30人 3 (1) 指定管理基本協定を締結(5年間) 4 (1) 協働のまちづくり地域支援事業交付金の交付決定(各地区経営母体) 各地区に正副各1名の担当職員を配置 ミーティングの定例開催(月1回)

<p>5. 次世代を担う人材の育成</p>	<p>(2) 地域づくり連絡協議会、支え合いのまちづくり会議及び地域支援調整会議の充実を図り、共通した地域課題の解決を図るとともに、町と地区が一体となった地域づくりを進める。</p> <p>(3) 意欲ある町外住民を「地域おこし協力隊員」に委嘱し、外部からの視点を活かした地域資源の活用や地域振興策を提案・実施することで地域力の維持・強化を図る。</p> <p>5</p> <p>(1) 各地区との連携を図りながら次世代のまちづくり、地域づくりを担う人材を発掘し、研修・交流を通して育成する。なお、講座修了者は、「まちづくりマイスター」に認定する。</p> <p>(2) 自主的なまちづくり活動を行う青年層の団体に助成し、町内の青年層によるまちづくり活動を推進する。</p> <p>(3) 町内の若者の海外研修を支援し、これからのまちづくりに不可欠な行動力と広い視野を持った人材の育成を図る。</p> <p>(4) 若者の出会いの場、機会を設けるため、若者の交流の場の創出、婚活支援を図る。</p>	<p>(2) 各種会議を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支え合いのまちづくり会議 7月8日、12月27日、3月6日 ・地域づくり連絡協議会幹事会 10月3日、2月22日 ・地域づくり連絡協議会 10月27日、3月28日 ・地域支援調整会議 7月8日 <p>(3) 地域おこし協力隊 11人委嘱（農業研修生4名、遅筆堂文庫研究員1名を含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内団体のリクエストに応じた派遣活動と自主活動を展開 <p>5</p> <p>(1) まちづくりマイスター養成講座の開催 受講者 21人(地区推薦、一般公募) 講座 8回開催 認定者数 14人</p> <p>(2) 若者未来塾交付金 3団体交付</p> <p>(3) オランダ研修を実施 1人参加</p> <p>(4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2分の3成人式を実施 1月8日 目的：若者の交流の場の創出 参加者 83人 ・ライフデザイナー制度を創設 目的：結婚を希望する男女を支援 ライフデザイナー 6人委嘱 ・川西町を元気にする活動報告会を開催 実施団体間の連携「共創」
<p>【情報統計グループ】</p> <p>1. 広報及び広聴活動の強化充実</p> <p>2. 町のブランド、イメージの確立</p> <p>3 電子自治体の推進</p>	<p>1</p> <p>(1) 外部委員会、内部組織を設置し町民の視点に立った町報、ホームページ、フェイスブックの内容の充実を図り、的確かつ魅力的な情報を発信する。</p> <p>(2) 町長とのふれあいトークの開催、町長への手紙等による広聴事業を実施する。</p> <p>2</p> <p>(1) 町の統一したブランド、イメージを確立するため調査研究を図る。</p> <p>3</p> <p>(1) 特定個人情報等の適正な取り扱いの徹底及び電子自治体の推進を図る。</p>	<p>1</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報モニター委員会（外部委員会）を開催 9月16日、11月29日、2月21日 ・広報委員会（内部組織）を開催 5月16日 町報部会 5月16日、10月26日、 1月19日 SNS部会 5月16日、3月2日 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町長とのふれあいトーク」を開催 10月18日 テーマ：川西町の魅力づくり 参加者12人 10月25日 テーマ：稼ぐ力 参加者7人 1月12日 テーマ：置賜農業高等学校の魅力の再発見 参加者16人 ・「町長への手紙」を実施 意見・要望等 19人、23件 <p>2</p> <p>(1) 県内自治体視察研修を実施 6月24日 朝日町</p> <p>3</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子自治体推進委員会を開催 5月31日、7月4日、9月21日、 3月22日 ・電子自治体推進委員会幹事会を開催 5月16日、3月16日 ・同情報システム部会を開催 3回 ・サブシステム更新に係るデモンストレーションへの参加 5月24日、5月26日 会議開催 9月15日

平成28年度 運営方針と組織目標（住民生活課）

作成者 住民生活課長 滝田 浩一

【課の運営方針】		
<p>1 住民の生活と直接係わりをもつ部門として、窓口利用のお客様に対し、迅速な対応による住民サービスの向上に努める。</p> <p>2 窓口における相談機能の強化を図るとともに、防犯や交通安全施策を充実し、安全で安心な住みよいまちづくりに努める。</p> <p>3 空家対策の強化を図るため、庁内体制の充実を図り、実態調査等を実施し、所有者による適正管理の徹底と危険空き家の対策に努める。</p> <p>4 環境基本計画の着実な推進を図るとともに、住民・関係機関と連携し生活環境、住環境の向上に努める。</p>		
組織目標	具体策指針	点検評価
<p>【戸籍住民グループ】</p> <p>1 窓口機能の強化とサービスの向上</p>	<p>1 待ち時間の短縮と住基、戸籍事務における適正な事務処理のもと、個人情報やプライバシー等に配慮した窓口機能の強化に努めるとともに、総合窓口としてワンストップサービス体制の確立に向け充実を図る。</p> <p>(1) 来庁者のニーズに柔軟に対応するため、関係課との検討を継続して実施する。</p> <p>(2) 戸籍法令事務及び住民基本台帳事務の迅速化、適正かつ円滑な処理を図るため、上部機関等の研修を積極的に活用し、職員の資質の向上に努める。</p> <p>(3) 住民票等の証明書のコンビニ交付導入のための調査研究、また、窓口業務の民間委託の調査検討を図る。</p>	<p>1</p> <p>(1) 関係課との検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子自治体推進委員会幹事会（マイナンバー部会） 5月16日 1人参加 県住民基本台帳ネットワークシステム担当者研修会、社会保障・税番号制度担当者説明会 9月12日 関係課4人参加 <p>(2) 職員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸籍事務従事職員初級者研修 5月25日 1人参加（講師） 市町村戸籍事務従事職員中級者研修 10月（計4日） 1人参加 中級者研修 10月（前期・後期計4日）1人参加 専門研修 12月22日 1人参加 戸籍研究月例会（移動含） 年間8回開催 各1人参加 <p>(3) 調査研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子自治体フェア2016 5月20日 2人参加 7月12日 2人参加 コンビニ交付先進地視察（会津若松市） 10月25日 3人参加 戸籍・住基事務担当者情報交換会 11月30日 3人参加 窓口におけるアンケート調査実施 11月21日～12月22日 176人回答 コンビニ交付関連説明会（県庁） 2月21日 2人参加
<p>2 国民年金制度の普及</p>	<p>2 制度のより深い理解と普及を図るため、町報を活用し、情報の提供と啓発に努める。（年4回）</p>	<p>2 町報及びホームページによる情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月15日号 年金保険料の申請免除・納付猶予制度 8月15日号 年金の任意加入制度、年金ネット利用サービス 11月15日号 「年金月間」、「年金の日」、公的年金制度 2月15日号 保険料の口座振替、クレジットカード納付のすすめ 3月15日号 学生納付特例制度
<p>3 マイナンバー制度の普及</p>	<p>3 マイナンバーカード取得の普及促進、制度及びカードの利活用の情報提供と啓発に努める。</p>	<p>3 普及啓発のための研修・情報収集</p> <p>(1) 研修・情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 県住民基本台帳ネットワークシステム担当者研修会、社会保障・税番号制度担当者説明会 9月12日 関係課4人参加 コンビニ交付関連説明会（県庁） 2月21日 2人参加 <p>(2) 情報提供・啓発（町報・HP）</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月15日号 マイナンバー通知カードの再交付申請 12月15日号 マイナンバーカードを利用した電子申告、住基カードからマイナンバーカードへの切替え

		・2月15日号 電子証明書登録によるe-Tax利用
<p>【生活環境グループ】</p> <p>1 防犯・交通安全の推進</p>	<p>1 犯罪や交通事故を未然に防止し、町民が安心して生活できるよう関係機関・団体の協力のもと推進に努める。</p> <p>(1) 地域ぐるみの防犯体制を支援するとともに、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、生活安全推進大会等を開催し、町民及び各関係組織団体の意識高揚を図る。</p> <p>(2) 交通事故の減少、交通死亡事故の撲滅を図るため、年間を通じた運動の展開と、交通安全指導体制の充実と啓蒙・啓発活動を実施する。</p> <p>(3) 交通安全専門指導員による各年齢層に応じたきめ細かい交通教室を実施し、事故防止に努める。</p>	<p>1</p> <p>(1) 防犯協会連合会その他関係団体との連携による事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青パト講習会 7月19日 34人参加 ・川西町生活安全推進大会 11月19日 <p>(2) 県民運動等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏の安全県民運動出発式 7月15日 ・秋の交通安全運動出発式 9月21日 ・交通死亡事故ゼロ500日達成 平成29年3月2日 <p>(3) 交通教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かもしかクラブ 各園月1回 1,608人参加 ・親子歩行ラリー大会 6月29～30日 112人参加 ・小学生交通安全教室 784人参加 ・中学生交通安全教室 517人参加 ・高齢者交通安全教室 112人参加 ・障がい者施設交通安全教室 45人参加
2 空家対策	<p>2</p> <p>(1) 危険空家の調査を実施しながら、条例に基づいた適正な対応を図る。</p> <p>(2) 空家対策委員会（関係課による内部組織）を強化し、空き家問題の解決を図る。</p> <p>(3) 空家対策計画の作成、協議会の設置について検討する。</p>	<p>2</p> <p>(1) 町空家等の適正管理に関する条例に基づく措置の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定空家の認定 3件 ・指導、助言、勧告の通知 ・代執行による除却 1件 <p>(2) 空家対策委員会の体制強化を実施（委員長を副町長に変更等）</p> <p>(3) 平成29年度計画を策定</p>
3 川西町環境基本計画の推進	<p>3 環境施策の推進に向けて、庁内及び町民組織の進行管理体制による、環境マネジメントシステムの活用による事業の点検・評価・改善を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内組織「川西町環境基本計画推進委員会」 ・町民組織「環境かわにし町民会議」 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境基本計画推進委員会 未開催 ・環境かわにし町民会議 未開催
4 環境教育の推進	<p>4 環境教育の推進に向け、情報の提供、団体・人材の育成を図る。</p> <p>(1) 町報及び町のホームページを活用し各種事業等の情報提供を行う。</p> <p>(2) 環境教育の一環として、EMによる町内小学校プールの浄化実証実験を実施する。また、町民環境団体との連携によるダリヤ園環境美化活動を実施する。</p> <p>(3) 団体・人材の育成に向け、地域での環境出前講座を随時開催する。</p>	<p>4</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁舎玄関フロアに「環境掲示板」設置 ・町報やホームページに情報の提供 <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全小学校プールでEMによるプールの浄化実証実験の実施（5月11日） ・衛生組織連合会小松分会によるダリヤ園内の水路清掃を実施（7月29日） <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境出前講座を随時開催 ・スポGOMI大会を計画（悪天候で中止） ・親子で作るグリーンカーテン教室を開催 6月4日 親子12組参加
5 ごみ減量化の推進	<p>5</p> <p>ごみの減量化に向け、分別収集の推進、資源物回収、廃食用油の回収（BDFへのリサイクル）を進める。</p> <p>(1) 大量排出事業者に対する廃棄物適正排出の啓発を行い、ごみの総排出量を前年度の水準を維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4,031t（平成27年度実績） <p>(2) 廃棄物収集運搬事業者に対し生活系、事業系及び産業廃棄物の区分けの徹底を依頼する。</p> <p>(3) 各地区での廃食用油の回収を行い、BDFへのリサイクル化を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標回収量 4,100ℓ（前年4,072ℓ） 	<p>5</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ収集カレンダーの配布（啓発） ・総排出量 3,907t <p>(2) 千代田クリーンセンターで町担当者の立ち合いにより指導を実施</p> <p>(3) 毎月1回、廃食用油回収を実施 回収量 4,820ℓ</p>

<p>6 自然環境の保全</p>	<p>6 自然環境の保全に向け、悪臭対策、野焼き対策、水質保全への取り組みを進める。</p> <p>(1) 悪臭対策として、臭気測定を実施し管理指導を強化するとともに、EM等を活用した悪臭抑制対策を進める。</p> <p>(2) 野焼きについて、広報活動の実施、監視体制の整備、関係団体（衛生組織連合会等）との連携を図り、未然防止に努める。</p> <p>(3) 水質保全のため、山口沢川、町内3堀及び眺山最終処分場跡地の水質調査を実施する。</p> <p>(4) 不法投棄予防啓発及び原状回復作業の実施。</p>	<p>6</p> <p>(1) 大規模畜産業者の施設敷地境界で臭気測定を実施 測定結果 町報公表</p> <p>(2) ・町報へのチラシ折込 ・監視車での広報活動を実施 ・野焼きパトロールの実施 8月～10月 6回</p> <p>(3) 水質調査の実施 庁舎箇所：山口沢川、町内3堀、眺山最終処分場跡地 調査結果：町報公表</p> <p>(4) ・予防啓発活動の実施 不法投棄監視員による監視活動のぼり、看板の設置 町報による啓発</p> <p>・置賜地区不法投棄防止協議会会員による不法投棄パトロールの実施 春期強化月間 5月 パトロール実施 5月17日 秋期強化月間 10月 パトロール実施日 10月12日</p> <p>・原状回復作業の実施 作業場所：内山沢林道 11月22日 23人参加</p>
------------------	---	---

平成28年度 運営方針と組織目標（税務会計課）

作成者 税務会計課長 島 貫 啓

【課の運営方針】 1 財政健全化を図るため、町税の適正な課税及び収納に努める。 2 会計事務を適正に執行するとともに、公金の安全確実な管理運用に努める。		
組織目標	具体策指針	点検評価
<p>【町税グループ】</p> <p>1 納税者意識の高揚</p> <p>2 適正かつ公平な課税</p>	<p>1</p> <p>(1) 町報等による税情報の提供 ・ 4月 固定資産税縦覧 ・ 5・7月 家屋調査のお知らせ ・ 1月 申告相談 ・ 3月 軽自動車税 等に関する記事を予定</p> <p>(2) 租税教室の実施 町内小中学校で開催（講師は職員のほか税務署及び法人会で分担）</p> <p>2</p> <p>(1) 適正課税に向けた調査、相談の実施 町民税未申告者の申告勧奨、法人訪問、固定資産税（家屋、償却資産）調査を実施する。</p> <p>(2) 課税事務の改善に向けた点検 地区税務協議会等での状況を踏まえ、課税事務のあり方を点検する。</p> <p>(3) 税関係研修会への積極的参加 地区税務協議会研修、町研修計画に基づく研修等に積極的に参加する。</p> <p>(4) 課内研修の実施 知識の習得及び事務内容の改善を目指し毎月実施する。講師は職員が輪番で分担</p>	<p>1</p> <p>(1) 町報等による情報提供を実施 ・ 4月 固定資産税縦覧 ・ 5月、7月 固定資産税及び家屋調査 ・ 6月、7月 国保税等 ・ 12月 償却資産 ・ 1月 確定申告</p> <p>(2) 租税教室を実施 町内4小学校（小松、大塚、犬川、玉庭）</p> <p>2</p> <p>(1) 申告勧奨、償却資産調査、法人訪問、家屋調査を実施</p> <p>(2) 地区税協会の会議及び各種研修会の結果を踏まえた事務の手法を検討</p> <p>(3) 各種研修会への参加 固定資産税事務地方研修会、税務（賦課）初任者研修会、家屋実地調査等研修、法令実務研修等</p> <p>(4) 課内研修を実施 5月～3月（2月を除く月1回） 職員が交代で講師を担当</p>

<p>【収納グループ】</p> <p>1 納税者意識の高揚</p> <p>2 収納事務の向上</p> <p>3 滞納対策の強化</p>	<p>1 (1) 町報等による税情報の提供 毎月、納税情報及び納付啓発に関する記事掲載</p> <p>2 (1) 税関係研修会への積極的参加 県徴収対策本部研修、町研修計画に基づく研修等に積極的に参加する。</p> <p>(2) 課内研修の実施 課内研修の実施知識の習得及び事務内容の改善を目指し毎月実施する。講師は職員が輪番で分担</p> <p>(3) 税と税外収入金の一元管理 収納業務効率化のため、納付督促等を一体的に実施するとともに、滞納処分、還付金等を一元的に管理する。</p> <p>(4) 収納関係課連絡調整会議の開催 上記(3)の充実に向け、関係課が一堂に会した会議を開催する。</p> <p>3 (1) 特別収納月間の設定 ・4・5月 出納閉鎖前催告 ・7月 滞納繰越分重点催告 ・11月 現年分重点催告</p> <p>(2) 納税相談員による納付督促の実施</p> <p>(3) 悪質滞納者等に対する滞納処分の実施</p>	<p>1 (1) 納付啓発の記事を毎月掲載</p> <p>2 (1) 各種研修会への参加 山形県地方税徴収対策本部徴収実務研修会、債権管理担当者実務研修、徴収事務研修会、ハードクレーム対応研修</p> <p>(2) 課内研修を実施 5月～3月(2月を除く月1回) 職員が交代で講師を担当</p> <p>(3) 納付督促、納付相談、滞納整理等の事務を一体的に実施し、収納業務の効率化と納税者の利便性を確保</p> <p>(4) 会議開催による収納に関する対応方針の確認 4月12日、7月12日、11月10日</p> <p>3 (1) 左記のとおり実施</p> <p>(2) 2班体制によつ納付督促を実施</p> <p>(3) 資産調査、差押えを実施</p>
<p>【会計グループ】</p> <p>1 適正な支出負担行為の確立と各課経理担当者の能力向上</p> <p>2 公金の安全かつ有効な運用管理</p>	<p>1 支出負担行為確認の徹底を図るとともに、振替不能とならないよう振込先を十分確認する。また、経理事務に必要な情報の提供を行うなど経理担当者に対する指導を徹底する。</p> <p>2 月ごとに資金計画を作成しながら、適正に公金を運用し、一時借入金の縮減に努める。</p>	<p>1 支出負担行為、振込先等の確認の徹底 経理担当者への指導 円滑な支払いの実施</p> <p>2 適正な公金運用と月ごとの資金計画の作成</p>

平成28年度 運営方針と組織目標 (健康福祉課)

作成者 健康福祉課長 淀野芳広

<p>【課の運営方針】</p> <p>1 すべての町民が健康で明るく生きがいを持ち、安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、健康・医療・福祉・介護が一体となつて、町民と積極的に連携をとりながら、事業を実施する。</p> <p>2 生涯現役プロジェクトを推進する。</p> <p>3 保健事業や健康づくりを推進することで、健康で充実した生活を送ることを支援し、医療費の抑制を図るとともに国民健康保険事業・介護保険事業運営の安定化を図る。</p> <p>4 生活習慣病予防の推進及びがん検診受診率の向上に努める。</p> <p>5 食育推進計画に基づき、かわにし食と健康の増進を図るため、食育事業を推進する。</p> <p>6 川西診療所等の整備計画策定に取り組む。</p>		
<p>組 織 目 標</p>	<p>具 体 策 指 針</p>	<p>点 検 評 価</p>
<p>【福祉グループ】</p> <p>1. 関係団体との連携強化 社会福祉協議会等の福祉団体との連携強化を図り、福祉環境及び福祉施策の理解の向上に努める。</p> <p>2. 障がい者の福祉サービス体制の確立 障がい者の福祉環境が、「ノーマライゼーション」の理念のもと、障がい者の要望に耳を傾けた福祉サービスに努め、障がい者の能力が十分に発揮できる社会形成を目指す。</p>	<p>1. (1) 社会福祉協議会、老人クラブ、身体障害者福祉協議会等との定期的協議の実施 (2) 民生委員・児童委員協議会への情報提供、課内連携の実施</p> <p>2. (1) 障がいの種類によらない共通のサービス提供 利用目標：障がい者／12サービス、140名 障がい児／3サービス、15名 (2) 働きたい人の就労支援 利用目標：16事業所、50名</p>	<p>1. (1) 随時に協議を実施 (2) 毎月7地区の分会定例会において、情報交換とケース検討を実施</p> <p>2. (1) 障害のある方が必要とするサービスを提供(13サービス、158人) (2) 就労継続支援A型 3事業所16人 就労継続支援B型 14事業所42人</p>

<p>3. 高齢者の福祉サービス体制の確立 高齢者の生活環境や状況に応じ、求める福祉サービスが、その利用を図るときに分かり易い提供体制を確立する。</p> <p>4. 災害時要援護者避難支援体制の確立</p> <p>5. 児童の健全育成 次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図る。また、児童虐待防止対策の充実を図る。</p> <p>6. 川西町地域福祉計画の進捗管理</p>	<p>(3) 移動支援や日中一時支援等、身近な地域でのサービス利用 利用目標：15事業所、15名</p> <p>(4) 障がい者の悩みや生活全般について、保健医療、教育各分野の機関・団体との連携及び相談体制の確立</p> <p>3. (1) 老人クラブ30組織の支援、健康レクリエーション大会への1,000名参加による元気な高齢者の生きがい活動支援</p> <p>(2) 豪雪時の雪下ろしや緊急通報システム救急医療情報キット配備など単身高齢者世帯等が安心できる支援サービスの実施</p> <p>4. 要援護者登録台帳の調整及び新規登録</p> <p>5. (1) 児童手当の支給</p> <p>(2) 要保護児童対策地域協議会の開催 代表者会議：年1回 実務者会議：年3回 以内</p> <p>6. 推進委員会を設置し進捗管理</p>	<p>(3) 事業委託 ・移動支援事業所 7事業所 ・日中一時支援事業所 8事業所</p> <p>(4) ・コロニー希望が丘との情報交換会を実施 6月27日 ・相談支援事業所に困難ケースを委託 ・身体及び知的障害者相談員の委嘱、相談支援を実施</p> <p>3. (1) 高齢者の生きがい活動を支援 ・老人クラブ30組織への支援 ・健康レクリエーション大会 参加者 877人</p> <p>(2) ・高齢者が安心して生活できるサービスを提供 ・緊急通報システム、救急医療情報キットを配備</p> <p>4. 登録台帳の更新及び新規登録受付を実施 (3月末現在 95人登録)</p> <p>5. (1) 児童手当を支給 6月 922人 10月 929人 2月 945人</p> <p>(2) 代表者会議と実務者会議を開催 7月29日 実務者会議 開催 3月22日</p> <p>6. 推進委員を選定 推進委員会は未実施</p>
<p>【健康推進グループ】</p> <p>1. 健康かわにし21計画（第2次）に基づく健康づくりの推進</p> <p>2. 食育の推進</p> <p>3. 国民健康保険事業の円滑な運営 保健事業の推進等による医療費の抑制と、適正課税及び収納率向上による国民健康保険税の負担軽減を図る。</p>	<p>1. (1) ライフステージに応じた運動の推進 ①親子で楽しむ運動教室の開催 3回 ②働く世代に対する運動実践の働きかけ</p> <p>③健康運動サポーターの養成 18名 ④マイレージ事業（ポイント制）の拡充 100名 ⑤ウォーキングの推進（楽笑健歩参加者増） 100名</p> <p>(2) 各種がん検診受診率の向上 〈目標〉 胃がん：37% 大腸がん：48% 子宮頸がん：30% 乳がん：35% 肺がん：53%</p> <p>2. 食育事業の推進 ①朝食推進事業（幼児施設）の実施 5施設 ②食育実習（キッズキッチン等）の開催 2回 ③幼児食育教室の実施 5施設 ④食育情報の提供（広報の活用） 12回</p> <p>3. (1) 医療費適正化の推進 ①データ分析と対策の推進 データ分析の活用 データヘルス計画の推進 ②後発医薬品（ジェネリック医薬品）の活用促進 ジェネリック医薬品希望シールの配布 ジェネリック医薬品差額通知（年2回） ジェネリック講演会の実施</p> <p>③レセプトの電子化に伴う内容点検の充実と効率化</p>	<p>1. (1) 開催状況等 ①ママ&ベビー体操教室 3回 ②研修会、健診結果説明会等での周知勧奨らく楽健康教室 18回 ③サポーター養成講座 18人 ④マイレージ事業 68人応募 ⑤楽笑健歩 延93人参加 ノルディックウォーキング教室 1回</p> <p>(2) 平成28年度実績 胃がん：35.0% 大腸がん：47.9% 子宮頸がん：24.6% 乳がん：30.9% 肺がん：53.8%</p> <p>2 ①朝食推進事業 5施設 ②キッズキッチン 2回 ③食育教室 5施設 ④食育情報掲載 12回</p> <p>3. (1) ①データ分析による具体的対策の検討 データヘルス計画の検証</p> <p>②被保険者証一斉更新時に「ジェネリック医薬品希望シール」を同封し、活用促進を啓発 ・ジェネリック差額通知の実施 4月：28年1月診療分713人分 10月：28年7月診療分643人分 ・ジェネリック講演会 11月28日開催 37人参加</p> <p>③国保連合会への委託による効率的なレセプトの点検を実施</p>

<p>4. 子育て支援医療の充実</p> <p>5. 川西診療所等の整備計画の策定</p>	<p>④重複・頻回受診者への保健指導</p> <p>⑤医療費通知（年6回）や広報等による適正受診の周知啓蒙</p> <p>(2) 国保税適正賦課並びに収納率の向上 (財政安定および被保険者の負担公平)</p> <p>①保険税適正賦課</p> <p>②収納率の向上のための税務収納課との連携 現年度分収納率目標 94%</p> <p>③嘱託納税相談員の配置</p> <p>(3) 関係機関と連携した保健事業の推進</p> <p>①特定健康診査、特定保健指導の実施</p> <p>②人間ドックの実施</p> <p>③健康増進事業による国保被保険者の健康力アップ</p> <p>4 少子化対策として中学生以下の医療費の無料化</p> <p>5 整備計画の策定</p>	<p>④国保連合会の突合データにより、保健指導対策を実施（調査結果該当者3名）</p> <p>⑤医療費通知を実施 5、7、9、11、1、3月 3月迄の延べ件数 10,757件</p> <p>(2)</p> <p>①本算定時及び随時の賦課における資格や所得等関係データを的確に把握し、適正に課税</p> <p>②滞納者の被保険者証の交付基準に基づき、短期証等の交付判定し、通知と納付相談を実施（8月21日10件、別日3件）</p> <p>③夜間・休日対応等により収納率向上に向け嘱託納税相談員 1人雇用</p> <p>(3)</p> <p>①特定健康診査の実施 1,251件 特定保健指導の実施 積極的指導15件 動機付指導 58件</p> <p>②人間ドックの実施 629件</p> <p>③食育推進事業、健康レクリエーション大会等の実施</p> <p>4 経済的支援と早期受診による重症化予防のため県補助事業に町独自事業のかさ上げをし、中学生以下の医療費無料化を実施</p> <p>5 整備計画の情報収集と分析を実施</p>
<p>【介護支援グループ】</p> <p>1. 介護保険事業の円滑な運営</p> <p>2. 地域包括支援センターの円滑な運営</p>	<p>1.</p> <p>(1) 介護給付適正化の推進</p> <p>① 介護給付適正化縦覧点検及び医療情報との突合点検事業を県国保連合会に委託し、正確な請求額の確保及び適正化実績額の向上を図る。</p> <p>② ケアプラン点検を実施し、ケアプランの内容の確認を通し、介護支援専門員のケアマネジメントの向上及び介護給付の適正化を図る。</p> <p>(2) 介護保険・地域包括支援センター運営協議会の開催 2回</p> <p>(3) 介護予防事業の推進</p> <p>(4) 高齢者並びに利用者の介護保険事業サービス等のニーズの把握</p> <p>2.</p> <p>(1) 地域ケア会議の推進 個別ケア会議・専門部会・代表者会議の開催</p> <p>(2) 認知症施策の推進</p> <p>①認知症サポーター養成講座の実施 20回</p> <p>②認知症カフェ 12回</p> <p>③徘徊高齢者等事前登録事業の推進 2地区</p> <p>④認知症初期集中支援推進事業の推進 (認知症初期集中支援チーム委託) 10件</p> <p>(3) 二次予防事業対象者に対する介護予防事業の実施 通所型及び訪問型介護予防事業の実施 目標 延べ人数 900人</p> <p>(4) 在宅医療・介護の連携</p> <p>①地域連携会議等参加</p> <p>②在宅医療・介護関係者の研修 3回</p> <p>③地域の医療・介護サービスの資源の把握</p>	<p>1.</p> <p>(1)</p> <p>①</p> <p>・縦覧点検実施回数 3回 過誤調整件数 5件</p> <p>・医療情報との突合点検 3回 過誤調整件数 1件</p> <p>② 自立支援型個別ケア会議を開催 12回 (1回 3ケース)</p> <p>(2) 運営協議会の開催 3回 7月7日、11月29日、3月13日</p> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>①すこやかサロン 延べ1,796人参加 (事業委託：社会福祉協議会)</p> <p>②いきいきサロン 23グループ</p> <p>③地域介護予防活動事業 (事業委託：各地区交流センター)</p> <p>(4) 業務委託により実施</p> <p>①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 3,800人</p> <p>②在宅介護実態調査 600人</p> <p>2.</p> <p>(1) 高齢者の自立支援と課題解決に向け開催 自立支援型個別ケア会議 12回 困難事例ケア会議 5回 地域ケア推進会議 2回</p> <p>(2) 講座等の開催状況</p> <p>① 実施回数 30回 参加者数 843人</p> <p>② 実施回数 12回 参加者数 113人</p> <p>③ 登録者 38人</p> <p>④ 委託件数 5件</p> <p>(3) 延参加者数 口・足腰元気コース 589人 関節の痛みコース 655人 訪問型口腔機能向上 13人 計 1,257人</p> <p>(4) 会議等開催状況</p> <p>①公立置賜総合病院地域連携会議 4回</p> <p>②実施回数 3回 9月7日、11月4日、3月15日</p> <p>③「高齢者のためのサービスガイド」に介護保険サービス事業所一覧及び医療機関等一覧を掲載</p>

	<p>(5) 生活支援体制整備</p> <p>①生活支援コーディネーターの配置 1名</p> <p>②生活支援担い手養成講座の開催</p> <p>③高齢者交流サロン立ち上げ支援 2地区</p>	<p>(5)</p> <p>①生活支援コーディネーターを配置</p> <p>②ふれあいの居場所づくり担い手養成講座を実施 7月14日、7月29日、8月8日、10月14日</p> <p>③居場所づくりモデル事業を実施 8月9日～9月末日 犬川地区1か所・玉庭地区3か所</p>
--	--	---

平成28年度 運営方針と組織目標 (産業振興課)

作成者 産業振興課長 鈴木 清 隆

【課の運営方針】		
<p>1. 本町農業の具体的な方向性を示す「川西町農業振興マスタープラン」の策定及び施行により、水田のフル活用による農業経営の確立と農業所得の向上等を図るなど、農業農村政策の的確な対応に資する。</p> <p>2. 経営所得安定対策の適正執行とともに、大規模に進められている圃場整備の機会を捉え、「米プラスα」のための水田フル活用ビジョンに定める戦略作物の本作化（定着化）に向けた園芸振興を強力に推進する。</p> <p>3. 拠点施設のオープンを契機として、農・商・工・観の産業間連携、人材育成を図る。</p> <p>4. 中小企業・小規模事業者振興条例に基づき、商工業支援策の充実を図ると共に、川西町観光基本計画に沿った川西ダリヤ園や浴浴センターまどか等のふれあいの丘周辺の施設整備を進め、また、イベント開催、サービスの充実による町の魅力アップに努め、併せて、広域観光キャンペーンの取り組みなどを通じ誘客増加を図り、地域経済の活性化を目指す。</p>		
組 織 目 標	具 体 策 指 針	点 検 評 価
<p>【農業グループ】</p> <p>1 水田農業の確立と振興</p> <p>2 畜産の振興</p> <p>3 農業の担い手育成・支援</p> <p>4 集落営農組織の育成と法人化の推進</p>	<p>1 水田農業の確立と振興</p> <p>(1) 米政策等の見直しを踏まえた本町農業の長期戦略の明確化を図るため、農業再生協議会と連携し、水田フル活用を中心とした「川西町農業振興マスタープラン」を策定する。(前年度未達分)</p> <p>(2) 水田農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業再生協議会と連携し、経営所得安定対策及び関連施策の活用による園芸産地の形成を推進する。 良質米の生産振興による農業所得の向上を図る。 <p>2 畜産の振興</p> <p>(1) 繁殖と肥育の連携等によるブランド性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 繁殖牛及び肥育牛の生産振興を図り、「生まれも育ちも川西」の米沢牛生産拡大に向けた振興を図る。 改良増殖及び飼育技術を高め、米沢牛の品質向上による所得向上に寄与する。 玉庭放牧場の総合的な利活用システム確立を支援する。 <p>3 中核的担い手の育成・支援</p> <p>(1) 認定農業者等中核的担い手の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業経営体の個別の経営に応じた認定農業者等の育成及び支援を図る。 <p>(2) 新規就農者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者等の個別の状況に応じた育成・支援と受入体制の整備を図る。 <p>(3) 女性農業者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 中核的農家の女性農業者や農業生産組織の基幹的農業従事者等を対象とした認定女性農業者制度の創設及び被認定者の育成及び支援を図る。 <p>4 集落営農組織の育成と法人化の推進</p> <p>(1) 集落営農組織の育成と法人化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 中心的経営体や兼業農家などの協働による地域農業を確立するため、集落営農組織化や法人化を支援する。 	<p>1</p> <p>(1) 米政策等の見直しに係る検討会 1回</p> <ul style="list-style-type: none"> アドバイザーの設置 4 専門部会の設置及び会議開催 各2回 「川西町農業振興マスタープラン」完成 H29年3月 <p>(2) 水田農業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業再生協議会会議等の開催状況 総会2回、幹事会2回、代表者会議3回、方針作成者連協3回、合同会議3回 経営所得安定対策等実績 交付申請件数 1,037件 主食用水稲作付面積 2,540ha <p>2 畜産の振興</p> <p>(1) 繁殖と肥育の連携等によるブランド性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 町有牛頭数 186頭 町有牛導入頭数 30頭 肥育牛貸付頭数 29頭 乳用牛貸付頭数 3頭 <p>玉庭放牧場利活用協議会への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 草地更新(10ha) <p>3 中核的担い手の育成・支援</p> <p>(1) 認定農業者等中核的担い手の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定農業者数 339件(累計) うち新規11人、再認定71人 <p>(2) 新規就農者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定新規就農者(町認定) 9人 青年就農給付金(開始型)受給者 5人 <p>(3) 女性農業者の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 認定女性農業者数 4人 支援事業活用件数 0人 融資制度活用件数 0人 <p>4 集落営農組織の育成と法人化の推進</p> <p>(1) 集落営農組織の育成と法人化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 集落営農組織 21件(うち新規1件) 農業法人 14件(うち新規3件)

<p>5 園芸作物の振興</p> <p>6 食の安全・安心の確立</p>	<p>5 園芸作物の振興 (1) 園芸産地の形成と戦略作物の振興 ・基盤整備事業の実施に併せ、園芸産地の形成と戦略作物の推進を図る。 ・6次産業化を支える多品目化を推進する ・品質向上・出荷調整体制整備を支援し、施設園芸化による周年型農業を推進する。 ・アドバイザーによる園芸の生産技術及び園芸経営の向上を支援する。</p> <p>6 食の安全・安心の確立 (1) 安全・安心な農産物の生産、販売 ・有機栽培及び減農薬減化学肥料栽培の推進及び耕畜連携による土づくりを推進する。 ・環境保全型農業の推進及び農畜産物の放射性物質検査等の支援を図る。</p>	<p>5 園芸作物の振興 (1) 園芸産地の形成と戦略作物の振興 ・戦略的園芸産地拡大支援事業（県単） 交付決定 2件 ・園芸振興アドバイザー委嘱 1人 ・町の花「ダリヤ」トッランナー育成 指定生産者 2人 アドバイザー委嘱 1人</p> <p>6 食の安全・安心の確立 (1) 安全・安心な農産物の生産、販売 ・環境保全型農業直接支払交付金（国庫） 実施件数 15件 ・環境保全型農業推進事業（町単） 実施件数 27件</p>
<p>【6次産業化グループ】 1 6次産業化の推進</p> <p>2 町内産品販売促進</p>	<p>1 6次産業化の推進 (1) 6次産業化推進計画の推進 ・6次産業化推進計画に基づき地域資源の調査、開発及び実践者の発掘を図る。 (2) 人材育成支援及び起業・事業拡大の支援 ・6次産業化の担い手等の研修支援により人材の育成並びに起業等への指導を充実する。 ・特産品加工や販売等の促進のため、実践内容に応じたハード、ソフトの補助並びに商標登録等の支援を図る。 (3) 拠点施設の運営に対する支援 ・6次産業化拠点施設の適正運営を図るため、人的・資金的な支援を実施する。 (4) 農産物・農産加工品等の多品目化の支援 ・拠点施設における販売品目拡大に向け、新作物の生産振興・技術向上のための支援を行う。 (5) 農産加工施設の建設に向けた検討 ・6次産業化拠点施設の運営の動向等を鑑みながら加工施設建設に対するニーズの把握や現状分析を行い、建設に向けた調査研究を行う。</p> <p>2 町内産品販売促進 (1) 直販による川西産品の販路等拡大 ・こまつ市や特産品フェア等直販イベントを拡充し、川西産品の販路拡大による地産地消及び川西産品の知名度向上を図る。 (2) 町内産品カタログ作成 ・町内の特産品に関する総合的なカタログ作成を行い、各種販売促進活動において活用し、町内産品の販路拡大を図る。</p>	<p>1 (1) ・6次産業化アドバイザー調査指導 6回 ・商品開発支援 1回 (2) ・6次産業化支援事業 ハード3件 ソフト1件 ・商標登録願 2件 ・農産加工セミナー 2回 参加者 延28名 (3) ・指定管理運営補助金 ・出荷・栽培品目拡大支援員派遣 (4) ・多品目栽培推進事業補助金 ・新品目栽培講習会（パッションフルーツ等） 2回 参加者 30名 ・先進直売所及び市場視察研修（1回） 参加者 19名 ・紅大豆等豆類成分検査に係る有効成分に関する調査 (5) ・先進農産物加工所調査（5か所） ・農産加工施設整備に係るアンケート調査</p> <p>2 町内産品販売促進 (1) ・こまつ市 5月より毎月第2土曜日朝 28店舗+チャレンジショップ2店舗+特別 出店2店舗 ・こまつ市夕市開催（8月10日）20店舗 ・仙山交流味まつり（6月8～9日）2店舗 ・川西夏まつり出店（8月7日）21店舗 ・特産品フェア霞城セントラル （9月11日）7店舗 ・かわにし産業フェア（10月17日） ・かわにし産直市（11月3日）5店舗 ・山形かわにし豆の展示会 （12月2～4日）6店舗 ・かわにし特産品フェア in 東京アンテナショ ップ（1月20～22日）7店舗 (2) ・次年度再検討</p>
<p>【商工観光グループ】 1 雇用創出の推進</p>	<p>1 雇用創出の推進 (1) ハローワーク及び雇用対策協議会等と協調し雇用創出を促進する。</p>	<p>1 (1) 雇用対策協議会との連携 ・ハローワーク求人情報（毎週発行） ・学校と企業との懇談会（7月） ・高卒者模擬面接会（9月） ・新入社員フォローアップセミナー（11月） ・就職実現セミナー（12月） ・ビジネスマナー講習会（3月）</p>

<p>2 商工業の振興</p> <p>3 中心市街地活性化の推進</p> <p>4 観光の振興</p>	<p>(2) 勤労者向けの住宅環境の改善を促進する。</p> <p>2 商工業の振興 (1) 商工事業者の経営指導機関である商工会の運営及び事業の支援を行う。</p> <p>(2) 企業訪問及び経営環境の調査を実施し、企業支援のあり方を研究する</p> <p>(3) 創業支援計画に基づいた、創業・起業支援を実施する。</p> <p>(4) 各種金融制度を周知し、商工事業者の経営安定の支援を行う。</p> <p>3 中心市街地活性化の推進 (1) 中心市街地の賑わいづくりを実践する活動団体の支援を行う。</p> <p>4. 観光の振興 (1) 観光基本計画に基づき地域資源の掘り起こしや既存資源の活用を推進する。</p> <p>(2) 花回廊キャンペーンなど、近隣市町や民間観光施設等と連携した広域観光事業を強化する。</p> <p>(3) ダリヤ園及びハーブ・ガーデン等の企画、サービス内容を充実させ来園者の増加を目指す。 (ダリヤ園：6万人、ハーブ園：6千人)</p> <p>(4) 浴浴センターやダリヤ園等の施設整備を進め、ふれあいの丘の機能充実を図る。</p>	<p>(2) 勤労者向賃貸共同住宅建設促進補助金 ・申請件数 0件</p> <p>2 (1) 商工団体事業への支援 ・商工会運営補助金 6,000千円 ・商業協同組合支援補助金 200千円 ・中小企業、小規模事業者振興条例の推進 ・川西町創業支援事業計画の推進 ・創業支援事業者との連絡会議を開催</p> <p>(2) 企業支援 ・企業訪問136社実施(159件) ・企業アンケートの実施(回答46件)</p> <p>(3) 創業支援 ・創業促進補助金 1件(理容業) ・創業支援補助金 1件(商工会) ・創業支援利子補給制度実施 4件</p> <p>(4) 制度資金の周知 ・中小企業制度資金利子補給事業 ・中小企業保証料補給事業</p> <p>3 (1) 実践団体への支援 ・中心市街地活性化支援補助金 400千円(綾プロジェクト) 200千円(川西町商工会)</p> <p>4 (1) 各研修会の実施 ・インバウンドおもてなし研修 6月18日 11人参加 ・ハーブガーデンフェア研修 6月18日 10人参加 ・町観光案内に関する研修会 8月9日、23日、24日、12月11日 29人参加</p> <p>(2) 広域連携 ・やまがた花回廊キャンペーン 4月～7月 ・まち歩きツアーの実施 ひめさゆりウォーク 6月11日 72人参加 置賜農業高校生ウォーク 6月18日 28人参加 ハーブウォーク 7月2日 18人参加 ・冬のあった回廊キャンペーン 11月～3月</p> <p>(3) ダリヤ園等の企画・運営による来園者 ・ハーブガーデンフェア 6月18日～7月10日 来場者6,659人 ※前年度比 878人増(115.2%) ・川西ダリヤ園 8月1日～11月3日 来園者 58,356人 ※前年比 4,235人減</p> <p>(4) ふれあいの丘の機能充実 ・浴浴センターまどか 冷蔵室設置 宴会用椅子・机の整備 厨房器機交換 ・川西ダリヤ園 複合遊具更新 チケットブース屋根改修 多目的広場改修</p>
---	--	--

平成28年度 運営方針と組織目標（農地林務課）

作成者 農地林務課長 阪野正則

【課の運営方針】		
<p>1. 本町農用地の効率的な利用を図るため、利用関係を調整し耕作者の地位の安定と農業生産力の増進を図る。</p> <p>2. 本町農業の高い技術力を活かした食糧供給基地として、生産基盤の整備から農業生産力の向上を図る。</p> <p>3. 集落機能の再生と都市との共生を促進し、中山間地域の活性化を図る。</p> <p>4. 環境と調和したみどり豊かな森林と里山づくりから、地球環境と美しい景観の保全を図る。</p>		
組織目標	具体策指針	点検評価
<p>【農地グループ】</p> <p>1. 農地等権利移動の許可・調整等の適正処理</p> <p>2. 農地の効率的利用に向けた利用調整を行い、利用集積を促進し、担い手の育成、農家経営安定化の基盤づくり</p> <p>3. 遊休農地、耕作放棄地の解消に努め、多様な利活用を推進</p> <p>4. 農業委員会相談業務の適切対応の体制づくり</p> <p>5. 農家経営状況等の把握、諸証明の円滑な発行に向けた農家台帳の整備</p> <p>6. 集落営農や農業経営改善に向けた取組みと、標準となる農作業料金、参考賃借料の設定</p> <p>7. 農業者年金制度加入促進</p> <p>8. 農業委員会業務の町民周知</p>	<p>1. 農業委員会総会の毎月開催 (毎月25日頃、年12回開催)</p> <p>2. 農用地利用設定等調整会議並びに農地あっせん委員会の開催 (9月～4月毎月開催) ・農地中間管理事業との連携による利用調整会議の開催 ・農用地利用集積計画作成 ・所有権移転等の嘱託登記</p> <p>3. 耕作放棄地解消計画の作成 ・耕作放棄地所有者への指導 ・農地パトロールの実施</p> <p>4. 相談業務の適切対応に向けた農業委員研修・事務局研修 ・農業情勢研修会 ・若手等農業者との意見交換会 ・農地中間管理事業研修会 ・農地等生前一括贈与に係る事務と適正指導</p> <p>5. 耕作証明の発行 ・農地基本台帳の更新整備 地図情報の更新 年1回 権利移動の更新 毎月1回.</p> <p>6. 優良農業経営先進地視察全員研修 ・参考賃借料の改定 ・農作業料金標準表の作成</p> <p>7. 受給者調査・加入者説明及び新規加入者の掘り起し ・農業者年金協会研修会の開催</p> <p>8. 広報委員会で編集し、広報誌発行 年2回(8月、1月) ・お知らせ事項は随時町報・ホームページに掲載</p>	<p>1. 農業委員会総会を開催 4月～3月 13回開催</p> <p>2. 農用地利用設定等調整会議並びに農地あっせん委員会を開催 5月～3月 9回開催 ・農用地利用集積計画を作成 ・所有権移転等の嘱託登記 33件 ・人・農地プラン代表者説明会を開催 6月30日 ・人・農地プラン支援調整会議を開催 9月21日、11月25日、 1月24日 ・人・農地プラン検討会を開催 9月29日、11月29日、 1月30日</p> <p>3. ・耕作放棄地所有者への指導 ・農地パトロールの実施 8月25日</p> <p>4. ・農地中間管理事業研修会を開催 7月28日、1月19日 ・先進地視察研修を実施 9月1日 ・いきいき農業者交流会を開催 第1回講演会&交流会 6月2日 36人参加 第2回視察研修 9月14日 14人参加 ・組織運営検討委員会の開催 4～1月 11回 1月27日 最終報告</p> <p>5. ・農地基本台帳の更新整備 地図情報の更新 年1回 権利移動の更新 毎月1回.</p> <p>6. ・先進地視察研修を実施 9月1日 秋田県大湯村 ・参考賃借料の改定の検討 ・農作業料金標準表の作成、配布</p> <p>7. ・農業者年金協会総会・研修会を開催 7月28日 ・農業者年金受給者説明会・農業者年金協会研修会を開催 3月16日 30名参加</p> <p>8. 広報委員会で編集し、広報誌発行 8月15日、1月15日発行 ・お知らせ事項は随時町報・ホームページ・フェイスブックに掲載</p>
<p>【農村林務グループ】</p> <p>1. 国土・自然環境保全に資する農用地管理の推進</p>	<p>1. 中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能支払交付金により、地域共同による農地・農業用水等の資源の保全管理活動及び農道・水路等の長寿命化と水質・土壌等の保全活動を推進する。</p>	<p>1. 中山間地域等直接支払交付金及び多面的機能支払交付金 ・中山間地域等直接支払交付金 対象 3組織 155.4687ha</p>

<p>2. 地域担い手農家への農地の集積及び農作業の効率化を図る基盤整備事業の推進</p> <p>3. 有害鳥獣駆除の効果的な実施</p> <p>4. 森林環境保全及び緑化の推進</p>	<p>2. 農業競争力強化基盤整備事業による基盤整備を推進する。</p> <p>3. 有害鳥獣駆除の迅速な対応及び駆除に係る後継人材育成を図る。</p> <p>4.</p> <p>(1) 森林病虫害(松くい虫)防除及びナラ枯れ被害の拡大防止に向けた防除を実施する。</p> <p>(2) みどり環境交付金事業による森林環境整備に取り組む。</p> <p>(3) 公有林造成管理事業による町有林環境整備を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金 ・農地維持活動 対象 19組織 4,220.72ha ・資源向上活動(共同活動) 対象 9組織 3,453.44ha ・資源向上活動(施設の長寿命化) 対象 19組織 1,011.71ha <p>2. 県営基盤整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうずく地区(H22~29年度) 施工面積93.5ha 進捗率99.3% ・高山地区(H23~30年度) 施工面積113.0ha 進捗率82.5% ・宮地地区(H25~30年度) 施工面積73.8ha 進捗率85.7% ・関根地区(H25~28年度) 用水路L=2698m 進捗率100% ・谷地地区(H27~31年度) 施工面積22.6ha 進捗率75.7% ・大塚西部1期地区(H28~37年度) 施工面積166.4ha 進捗率6.6% <p>3. 新規狩猟免許取得補助金事業 補助対象者 4人</p> <p>4.</p> <p>(1) 病虫害等防除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ被害木処理 117本 (51.44㎡) ・ナラ枯れ被害予防 49本 <p>(2) 森林環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒木処理等作業 (内山沢) 102本 (33.42㎡) (下小松) 50本 (19.62㎡) <p>(3) 町有林環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育間伐 河原沢: 2.45ha 三滝沢: 1.91ha
---	--	--

平成28年度 運営方針と組織目標 (地域整備課)

作成者 地域整備課長 奥村 邦彦

<p>【課の運営方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 安全安心かつ快適な住環境の整備促進、計画的土地利用の検討及び地籍調査を推進する。 2. 安全でおいしい飲料水の安定供給及び水道事業の経営健全化を推進する。 3. 生活環境の向上に資するため、生活排水処理対策を推進する。 		
<p>組織目標</p>	<p>具体策指針</p>	<p>点検評価</p>
<p>【建設管理グループ】 1 住環境の整備促進</p>	<p>1</p> <p>(1) 町道の新設改良等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚空蔵山西線道路改良事業調査・用地買収 ・坂水萩野線道路改良事業用地買収・本工事 ・町下線道路改良事業本工事 ・道祖神坂水橋線道路改良事業測量設計 	<p>1</p> <p>(1) 町道の新設改良等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年3月 虚空蔵山西線道路改良工事完成 ・28年9月 坂水萩野線説明会 ・29年3月 坂水萩野線道路改良工事完成 ・28年7月 町下線道路改良工事完成 ・28年9月 道祖神坂水橋線道路改良事業測量設計完了

<p>2 計画的土地利用の検討</p> <p>3 地籍調査の推進</p>	<p>(2) 町道等の適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路側溝整備 L = 300m ・町道舗装 L = 800m ・消雪水源修繕 6ヶ所 ・道路除雪 L = 270km ・橋梁長寿化(点検) ・公園維持管理 6ヶ所 ・町営住宅維持管理 4団地・44世帯 <p>(3) 住宅建設支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅建設支援 ・若者向け住宅建設支援 ・三世帯同居支援 <p>(4) 国県道の整備促進要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟山形南部連絡道路(梨郷道路)整備促進要望 ・一般国道287号川西バイパス及び米沢川西バイパス整備促進要望 <p>2</p> <p>(1) 都市計画区域内の都市的土地利用検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用途地域設定の検討 ・都市施設の検討 <p>3</p> <p>(1) 地籍調査事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大字下小松・中小松地内0.47km²地積測定・閲覧・認証請求 ・大字下小松地内0.29km²基準点測量・調査素図作成 ・大字高豆蔻地内認証請求 	<p>(2) 町道の適切な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路側溝整備 L = 200m ・町道舗装 L = 1,000m ・消雪水源修繕 6か所 ・道路除雪 L = 270km ・橋梁長寿化(点検)156橋 (H28.6~H29.3) ・公園維持管理 6か所 ・町営住宅維持管理 4団地・44世帯 <p>(3) 住宅建設支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅建設支援106件279,283千円 ・若者向け住宅支援 4件79,479千円 ・三世帯同居支援 4件103,626千円 <p>(4) 国県道の整備促進要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟山形南部連絡道(梨郷道路) 7月22日 川西地区期成同盟会総会 ・米沢川西バイパス 7月11日 川西地区期成同盟会総会 10月18日 合同研修会 <p>2</p> <p>(1) 都市計画地内の都市的土地利用検討</p> <p>都市計画見直し調査業務委託完了(用途地域洗出し作業完了)(H29.3)</p> <p>3</p> <p>(1) 地籍調査事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大字下小松・中小松地内0.47km²地積測定終了・閲覧終了・認証済・法務局送付 ・大字下小松地内0.29km²基準点測量調査素図作成完了(H29.3)
<p>【上下水道グループ】</p> <p>1 飲料水の安定供給</p> <p>2 経営健全化の推進</p> <p>3 生活排水処理対策の推進</p>	<p>1</p> <p>(1) 老朽管更新、施設設備の更新及び維持管理等</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県道大塚米沢線配水管布設替工事 ・県道米沢南陽白鷹線配水管布設替工事 ◆単独事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県道米沢南陽白鷹線幅広路肩設置に伴う配水管移設工事 ・維持管理困難配水管整備工事 ・第一加圧場(大舟上)、第二加圧場(逆沢)場内配管更新工事 ・上水道施設計装テレメータ保守点検業務 ・緊急漏水対応 ◆県発注事業 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川水管橋右岸下部工、上部工及び町配水管布設替工事 <p>2</p> <p>(1) 経営健全化計画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未収金対策の推進 ・次期水道事業経営健全化計画策定調査業務 <p>3</p> <p>(1) 公共下水道施設等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業計画変更認可業務 ・公共下水道汚水樹設置工事 ・管路施設調査業務 ・施設設備の適正維持管理 ・水洗化率向上対策 	<p>1</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆交付金事業 <ul style="list-style-type: none"> ・一般県道大塚米沢線老朽管布設替工事完了 φ100mm L=441.5m ・主要地方道米沢南陽白鷹線老朽管布設替工事完了 φ75mm L=561.0m ◆単独事業 <ul style="list-style-type: none"> ・県道米沢南陽白鷹線幅広路肩設置に伴う配水管移設工事 山形県工事が繰り延べとなり翌年度実施予定 ・維持管理困難配水管整備工事 中郡中学校及び玉庭中学校跡地の配水管の管止めを実施 ・テレメータ保守完了 中央監視装置、八幡原配水池、正安寺配水池、朴沢ポンプ場、西原配水池及び東沢ポンプ場の保守点検を実施 ・緊急漏水対応 89件 ◆県発注事業 <ul style="list-style-type: none"> ・黒川水管橋右岸下部工完了 ・上部工及び町配水管布設替工事完了 <p>2</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催告書の発送 513件 ・給水停止執行 18件 ・調査を実施 <p>3</p> <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変更認可業務完了 ・汚水樹設置工事 公共3か所、特環1か所設置 ・管路調査完了(中小松地内) ・年間を通して管理を実施

	<p>(2) 農業集落排水施設等の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中大塚農業集落処理施設フェンス修繕工事 ・下小松・中大塚地区処理場等の適正管理 <p>(3) 合併処理浄化槽設置促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国県補助制度の周知及び活用(30基) 	<p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中大塚農業集落処理施設フェンス修繕工事完了 ・下小松・中大塚地区処理場等の適正管理を実施 <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28基に補助金を交付
--	--	--

平成28年度 運営方針と組織目標 (教育総務課)

作成者 教育総務課長 緒形 信彦

【課の運営方針】		
<p>1 「川西町教育等の振興に関する大綱」に基づき、未来を見据えた確かな教育をめざし、町教育目標及び学校教育目標の実現をめざす。</p> <p>2 幼児から生徒まで年代に応じた学ぶ力を育成し、学習意欲を高め学力の向上を図る。</p> <p>3 安心して充実した学校生活を送れるように、施設整備をはじめ、学区再編など健やかに育む教育環境の充実を図る。</p> <p>4 地域で子供たちを健やかに育てていくために、地域・家庭・学校が連携した教育を推進する。</p> <p>5 子育て世代が働きやすく安心して子どもを育てられる環境の充実を図る。</p>		
組織目標	具体策指針	点検評価
<p>【教育総務グループ】</p> <p>1 学力向上に向けた取り組み</p>	<p>1 小中学校の学力向上に向けた各種取り組みを行う。</p> <p>(1) 学習支援アドバイザーを活用した教員の資質向上</p> <p>(2) 学習支援員及び放課後学習支援員の配置</p> <p>(3) 中学校における英語検定3級以上の検定料補助 目標合格率 50%</p> <p>(4) 「川西町幼保小中読書教育推進計画」を策定し、町の財産であるフレンドリープラザを活用した読書活動の推進。</p>	<p>1</p> <p>(1) 学習支援アドバイザー配置 川西中学校 金俊次先生 (前米沢市立東部小学校校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内研究会の際の指導助言 ・ICTの授業での活用について指導 ・ICTを活用した事後研究会の実施 <p>(2) 学習支援員の配置 (川西中、5小学校 8人) 放課後学習支援員の配置(全小中学校) 川西中でのアンダーアーチパーの減少</p> <p>(3) 準2級受験生徒5人(合格者3人) 3級受験生徒31人(合格者14人) 総受験生徒36人 (受験率26.6%、合格率47.2%)</p> <p>(4) 川西町幼保小中読書教育推進計画策定委員会委員会を開催(委員:8人)</p> <p>第1回 7月11日 委員8人出席 第2回 9月14日 委員8人出席 第3回 10月19日 委員8人出席 第4回 11月17日 委員7人出席 第5回 12月9日 委員8人出席</p>
<p>2 川西中学校の環境整備と経営支援</p>	<p>2 統合開校して6年目となる中学校の環境整備と経営支援を行う。</p> <p>(1) 学習指導のための支援教員配置等不登校・特別室登校生徒への支援。</p> <p>(2) 教育相談員を配置し、学力向上に向けた組織・対応及びいじめ・不登校ゼロに向けた組織的な取り組み。</p>	<p>2</p> <p>(1) 学習支援員(2人)、放課後学習支援員(2人)、教育相談員(2人)を配置</p> <p>(2) 町教委に教育相談員を1人配置小中学校及びフリースクール指導員、主任児童委員と連携し、いじめ・不登校の未然防止と対応策について助言</p>
<p>3 川西町立小学校学区再編の推進</p>	<p>3 犬川小、高山小、玉庭小、東沢小学区再編検討委員会から報告された協議結果に基づき、教育委員会及び町の方針を定め、学区再編を推進する。特に、学区再編を実施すべきと報告のあった高山小、東沢小については、今年度中に統合準備委員会(仮称)を設置し、具体的な協議を行う。</p>	<p>3 開校準備委員会の設置(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小松小学校と東沢小学校 ・中郡小学校と高山小学校 <p>平成30年4月の開校を目標 具体的な内容を専門部会で協議</p>
<p>4 教育プラットフォームの推進</p>	<p>4 本年度川西中学校をコミュニティ・スクール(以下「CS」という。)に指定し、町内全小中学校がCSを導入する。</p>	<p>4 川西中学校をCSに指定 町内全小中学校が学校運営協議会を設置</p>
<p>5 町内小学校施設の整備</p>	<p>5 町内小学校において、老朽化した施設、設備について整備工事を行う。</p>	<p>5 小学校施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健室エアコン工事(犬川・高山・東沢) ・受水槽入替工事(犬川)

6 スクールバス・園児バスの民間委託化	6 スクールバス・園児バスの民間委託化に向け、メリット、デメリットを比較検討し、方向付けをする。	6 中学校、吉島小学校スクールバスの状況を精査中 平成30年4月の小学校学区再編を予定しており、新たなスクールバスの設置対応も含めて民間委託について検討
【子育て支援グループ】 1 子ども・子育て支援事業計画の推進 2 子育て支援の充実 3 教育・保育施設への適正な給付 4 新小松保育所整備に関する計画策定	1 川西町子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼児施設の充実を図り、子育て世代が安心して子育てができる環境を整備する。 2 地域や施設の特徴を十分に発揮し、多様化する保育ニーズに対応した子育て支援の充実を図る。 (1) 子育て支援センターの充実 (2) ファミリー・サポート・センター事業の充実 (3) 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の活動支援 (4) お誕生祝い品支給事業の実施 3 幼稚園・保育所等、教育・保育施設に対して国の公定価格に基づき適正な給付を行う。 4 小松保育所の整備に関する調整協議を行い、計画策定を行う。	1 子育て環境の充実を図るため一時預かり事業、病児保育事業、延長保育事業等の実施 2 (1) 子育て支援センター ・毎日型の遊びの広場を実施 ・イベント開催(月2回) ・家庭保育中の保護者の相談対応 ・開所日第2・4土曜日午前中を追加 ・利用者2,377組 5,154人 ・こどもまつりを実施 9月11日 44組127人参加 ・相談件数 52件 (2) 子育て相互援助活動の連絡、調整 ・協力会員6人 利用会員14人 両方会員1人 ・年間利用件数 16件 (3) 児童クラブ(4学区)、子ども教室(5学区)の活動支援を実施 川西町放課後子どもプラン運営委員会(2回)開催(委員:8人) 第1回 10月31日 6人出席 第2回 3月10日 5人出席 (4) お誕生祝い品支給事業を実施 ・出生届提出者数 92人 ・申請者数 92人 3 国の公定価格に基づき、教育・保育施設に対して適切に給付 4 小松保育所の整備、運営形態について協議(課題調整会議)

平成28年度 運営方針と組織目標(生涯学習課)

作成者 生涯学習課長 後藤 哲雄

【課の運営方針】 1 生涯学習推進計画後期計画に基づき、生涯学習の機会と情報提供を行い学びの場をつくり、総合的な人づくりを推進する。 2 生涯スポーツの振興による町民の健康体力づくりを進めるとともに、社会体育施設整備の推進を図る。 3 文化財の保護、調査及び活用並びに芸術文化の振興を図る。 4 社会教育施設等の整備及び利用拡大を図る。		
組 織 目 標	具 体 策 指 針	前 期 (4月～9月) 進 捗 状 況
【生涯学習グループ】 1. 生涯学習事業の推進	1. (1) 生涯学習講座(ゆうゆう大学、出前講座)を実施する。	1. (1) 生涯学習講座を実施 ①ゆうゆう大学 第1回全体学習会 5月20日 153人参加 第2回全体学習会 10月26日開催 135人参加 各地区ごと開催 35回 ②職員出前講座 延1, 217人参加 44回実施

<p>2. 生涯スポーツの推進</p> <p>3. 文化財の保護、調査及び活用</p>	<p>(2) 家庭教育講座を実施する。</p> <p>(3) 女性団体等の活動支援を行う。</p> <p>(4) 青少年育成、視聴覚教育事業を推進する。</p> <p>2.</p> <p>(1) 体育協会及びスポーツ少年団活動を支援し、スポーツ推進委員・スポーツ指導者の養成と資質の向上を図る。</p> <p>(2) 平成29年度全国高等学校総合体育大会開催に向けての準備並びに実行委員会設立</p> <p>(3) ホッケー競技の推進を図る。</p> <p>(4) パークゴルフ場の整備を図る。</p> <p>① 建設工事等の着工</p> <p>(ア) パークゴルフ場建設に伴う道路整備及び排水路敷設工事</p> <p>(イ) パークゴルフ場建設工事</p> <p>② 施工管理業務の委託</p> <p>③ 実施設計積算業務の委託</p> <p>④ 管理運営方法の検討</p> <p>(ア) 先進地視察</p> <p>(イ) 関係団体等との協議</p> <p>3.</p> <p>(1) 指定・登録文化財の保護及び未指定文化財の調査を行う。</p> <p>(2) 埋蔵文化財の保護、調査及び「資料展示館」の活用を行う。</p> <p>(3) 下小松古墳群の保護、活用及び一帯の環境保全を行う。</p> <p>(4) 「アルカディア人物館」を通じた先人の業績の周知及び資料収集を行う。</p> <p>(5) 町の歴史や文化財に親しむ機会を創出する。</p>	<p>(2) 家庭教育講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内幼児施設2施設、小中学校9校で開催 ・子育てサポーター講座を開催 8月31日開催 50人参加 <p>(3) 女性団体連絡協議会、女性未来委員会業務支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①女性団体連絡協議会 14回開催 ②女性未来委員会 11回開催 <p>(4) 川西町民青少年育成会議事務局として業務支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①川西町青少年育成町民会議研修会 7月20日開催 約90人参加 ②川西町小学生新春書き初め大会 1月8日 36人参加 <p>2.</p> <p>(1) 各種大会開催を体育協会への委託により実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ少年団本部との連携により年間計画に基づき事業を推進 ・スポーツ推進委員の県・東北研修会参加 <p>(2) 7月7日実行委員会を設立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局会議 8回 ・28年度インターハイ鳥取大会視察 7月28日～8月1日 <p>(3) ユニホッケー教室を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北中学生ホッケー選手権大会を開催 7月30日～31日 <p>(4) パークゴルフ場整備</p> <p>①建設工事の着工状況</p> <p>(ア)工期：28年5月12日～28年12月20日 完成：10月24日</p> <p>(イ)工期：28年6月15日～29年10月10日 28年度出来形率：28.37% (11月30日現在)</p> <p>②(公財)山形県建設技術センターと契約委託期間：28年7月1日～28年12月20日 完了：12月20日</p> <p>③(公財)山形県建設技術センターと契約委託期間：28年4月1日～28年4月28日 完了：4月28日</p> <p>④管理運営方法の検討状況</p> <p>(ア)先進地視察を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白鷹町パークゴルフ場 9月30日 白鷹町、(一財)白鷹町アルカディア財団 ・飯豊町パークゴルフ場 9月30日 ㈱飯豊町緑のふるさと公社 ・小国町パークゴルフ場 10月11日 小国町、東部地区振興協議会 <p>(イ) 小松スキークラブとの協議を実施 11月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町パークゴルフ協会役員との協議実施 ・他関係団体との協議随時実施 <p>3.</p> <p>(1) 経常的な文化財の管理業務の実施「錦屋」の登録に向けた資料作成</p> <p>(2) 壇山古窯跡群の発掘調査(5月～7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川西町交流館「あいばる」内での資料展示館の公開(6月～) <p>(3) 下小松古墳群環境整備業務委託(4月～12月)</p> <p>(4) 川西町交流館「あいばる」内での公開(6月～)</p> <p>(5) 「文化財めぐり」を実施 10月8日</p>
---	---	---

<p>4. 芸術文化の振興</p>	<p>4. (1) 町民が芸術に親しむ機会を創出する。 ① 児童・生徒の芸術鑑賞会、絵画展の実施 ② 町芸術文化祭の実施 (2) フレンドリープラザを活かした文化振興を推進する。 ① ホールを利用した鑑賞型事業、参加型事業の実施 ② 遅筆堂文庫を活用した企画展や各種講座の実施 ③ 町立図書館を中心にして読書推進活動の実施 ④ 井上ひさし氏の業績を語り継ぎ、学習する機会の創出</p>	<p>4. (1) 芸術に親しむ機会の創出 ①芸術鑑賞会 10月3日 山形交響楽団 小学4年生～中学生 ②芸術文化祭 町芸術文化協会に委託し実施 11月2日～3日 (2) 指定管理事業 ①～④ ・鑑賞型 朗読劇「この子たちの夏」を実施 7月17日 ・参加型 シニア演劇、子ども演劇教室、フレンドリークリニックを実施 ・企画展「井上ひさしと本」を開催 ・朗読セミナーを実施 6月1日 ・大人のための夜の図書館を実施 9月27日</p>
<p>5. 社会教育施設等の整備及び利用拡大</p>	<p>5. (1) 川西町交流館の整備と利用拡大を図る。</p>	<p>5. (1) 開館記念事業を実施 6月4日 ①開館記念式典 ②施設見学 希望者随時 ③公開記念リレートーク「アルカディア人物館」 (2) パンフレット等の作成と配布 ①川西町交流館「あいぱる」パンフレット ②アルカディア人物館リーフレット (3) 旅館業経営許可 平成28年7月14日付取得 (4) 使用実績 ①交流施設 校舎 97件 2,145人 ②同上 運動施設 395件 6,018人 ③同上 宿泊施設 7件 90人 ④文化施設 アルカディア人物館他 87件 367人</p>

平成28年度 運営方針と組織目標（議会事務局）

作成者 議会事務局長 藤崎良子

<p>【課の運営方針】 1 議会は、住民の直接選挙によって選ばれた議員による合議体で、住民の意思を継承・統合して本町の意思決定を行うものであり、その補助組織として議会事務局がある。これらが充分かつ的確に発揮できる体制づくりに努めるとともに、行財政改革の本旨である効率的かつ効果的な事務執行を目指す。 2 議会基本条例の具現化の第1歩として、情報公開手段の構築をはかる。</p>		
<p>組織目標</p>	<p>具体策指針</p>	<p>点検評価</p>
<p>1 業務執行体制の整備充実</p> <p>2 情報公開手段の充実</p>	<p>1 業務執行体制の整備充実 (1) 職員の資質向上 迅速な対応や会議の円滑な進行のため、議会関係の研修会へ積極的に参加する。 (2) 諸会議の的確な運営 会議進行の事前検討会を実施し、日程、次第書等の適法性や遺漏事項を検証する。また、会議全般について、チェックリストを作成して万全を期する。 2 情報公開手段の充実 (1) 広報広聴活動の充実 議会だよりの年4回の発行のほか、議会意見交換会を開催する。</p>	<p>1 業務執行体制の整備充実 (1) 各種研修等への参加 ・町村議会局長会 4月5日 ・新任議会事務局長・職員研修 4月15日 ・議会事務局長・職員研修会 5月19～20日 ・議会事務局職員全国研修 11月28～29日 ・議会事務局職員のための基本実務講座 1月12～13日 (2) 検査・検討体制を整備 議事日程などの書類や議事運営全般の事前検査を相互に行い、チェックリストによる最終検討を実施 2 (1) 広報広聴活動の充実 ・議会だよりの4月号、7月号、10月号、1月号を発行</p>

	(2) 議会映像配信システムの利活用 議会本会議等の会議映像をインターネットで配信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会開催 8月18～19日 吉島、東沢、犬川、玉庭地区 ・議会ホームページにて報告書を公表 (2) 議会映像配信システムの利活用 議会本会議等の会議映像をインターネットで配信
--	---	---

平成28年度 運営方針と組織目標（監査委員事務局）

作成者 監査委員事務局長 藤崎良子

【課の運営方針】 1 町の事務事業全般について、地方自治法第2条第14項及び第15項で規定する事務処理の効率性と組織、運営の合理化の趣旨に沿ってなされているかどうか、特に意を用いながら各種監査を執行する。		
組 織 目 標	具 体 策 指 針	点 検 評 価
1 監査機能の強化	1 監査機能の強化 (1) 監査実務能力の向上を図るため、各種研修等へ積極的に参加する。 (2) 監査の実効性を高めるため、指摘事項に対する措置状況について報告を要請するとともに、報告内容の公表について検討する。	1 (1) 監査委員・事務職員研修への参加 5月31日、8月8日、 2月14日 (2) 該当事案なし